

新技術説明会

金沢

開催日時
会場

2021年8月26日(木)
13:15~16:30 (受付開始12:15)

石川県地場産業振興センター
本館2階 第1研修室
(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)



13:15~13:20	開会挨拶 (開催の趣旨説明) 土木研究所 技術推進本部 寒地技術普及推進監 阿部修也
13:20~13:50	写真計測技術を活用した斜面点検手法 防災地質チーム 総括主任研究員 日外勝仁
13:50~14:20	衝撃加速度試験装置を用いた盛土 および石灰・セメント改良盛土の品質管理技術 寒地地盤チーム 特任研究員 佐藤厚子
14:20~14:50	堤防決壊時に行う緊急対策工事の効率化に向けた検討資料 寒地水圏研究グループ 上席研究員 前田俊一
14:50~15:00	休憩
15:00~15:30	大型車対応ランブルストリップス 寒地交通チーム 総括主任研究員 平澤匡介
15:30~16:00	道路吹雪対策マニュアル 雪氷チーム 主任研究員 原田裕介
16:00~16:30	全体質疑

事前申込制 (参加費無料)

参加ご希望の方は、下記イベント情報ページ内の『寒地土木研究所 新技術説明会 (金沢)』お申し込みフォームより必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

また、参加申込時にCPDSを申し込まれた方は、受講証明書発行時にCPDS技術者証をご提示ください。

申込先 (寒地土木研究所イベント情報)
<https://www.ceri.go.jp/contents/event/>

〈問い合わせ先〉寒地土木研究所寒地技術推進室 TEL: 011-590-4046
主催: 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
後援: 国土交通省北陸地方整備局 (予定)

参加者の皆様へお願い

- 新型コロナウイルス感染の予防、拡散防止にあたり、ご来場の皆様には下記項目にご協力をお願い申し上げます。
- ・感染症の拡大状況によっては、急遽中止となる場合があります。
 - ・原則、事前申込みをされた方からのみの参加とさせていただきます。
 - ・発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。
 - ・場内はマスクの着用をお願いいたします。
 - ・会場内に消毒液を設置し、入場時に検温を実施いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。
 - ・ソーシャルディスタンス確保のため、会場内の座席制限を行います。
 - ・接触確認アプリ(COCA)のインストールをお願いいたします。
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

講演技術の概要

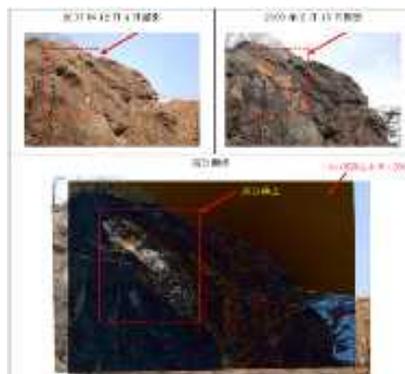
寒地土木研究所では、研究開発した技術の現場活用を図るため、技術者にとって関心が高いテーマについて講演を行っています。

技術の詳細については、こちらのURL (<http://chouseikan.ceri.go.jp/suishin/gijutu.html>)をご覧ください。

写真計測技術を活用した斜面点検手法

斜面点検等で、落石や崩積土等の変状が確認されると、崩壊箇所の確認や大規模崩壊等の前兆の可能性などの検討が行われます。

デジタルカメラにより同一箇所から異なる時期に撮影した2枚の画像の補正・合成による色合いの変化から斜面変状箇所を抽出する「背景差分法」と、ステレオ画像法により作成した3D地形モデルから崩壊土量を算出する「変動量計測法」の2つの斜面点検手法を構築し、マニュアルとしてまとめました。



衝撃加速度試験装置による盛土の品質管理技術

盛土の品質管理は、砂置換法による密度試験では、結果の判明まで1日以上時間を必要としていたため、品質を確認してから作業しなければならない盛土施工においては、品質管理に時間を要し、工事の進捗が遅れが生じることがありました。

そこで盛土の密度や強度を推定する機械として「衝撃加速度試験装置」を開発しました。

この装置を使用することにより、これまで砂置換法で管理していた盛土や安定処理した盛土の品質を“直接”“迅速”“簡易”に管理することができ、盛土の品質管理にかかる時間を大幅に低減できます。

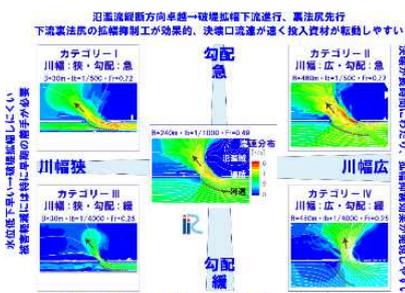


衝撃加速度装置 測定状況

堤防決壊時に行う緊急対策工事の効率化に向けた検討資料

治水整備が進んでいる現在においても、豪雨災害時の堤防決壊による浸水被害が全国で発生しています。本検討資料は、堤防決壊時の緊急対策工事の効率化を考える際に必要となる河川特性に応じた決壊口の締切方法や、重機作業、使用する資機材の適応性について検討した内容を示したものです。

各河川管理者が実施する堤防決壊時の緊急対策シミュレーション等の参考として本検討資料を使用することで、少しでも有効な方法を選択し、現場ごとの減災につながることを期待してとりまとめました。



河道形状に応じた堤防決壊現象の分類図

大型車対応ランブルストリップス

ランブルストリップスとは舗装表面に凹型の切削溝を連続して配置し、これを踏んだ車両に対し不快な音と振動を発生させ車線を逸脱したことを警告する交通事故対策技術のことです。

本技術は大型車両に対する警告効果を高めたランブルストリップスで、既存規格よりも車内振動レベルを10%程度向上させたもので、自動車専用道路を主な設置先として、従来よりも切削溝の幅が大きく深い新たな規格を開発しました。



道路吹雪対策マニュアル

積雪地域においては毎年激しい吹雪の発生により十分な視界が確保できず、安全な道路通行に支障を来しており、確実な道路吹雪対策が求められています。

本マニュアルは、防雪林、防雪柵、その他吹雪対策施設（道路構造による吹雪対策、視線誘導施設）など、道路吹雪対策に関して記載しています。平成23年4月から北海道開発局の技術基準として通達されています。また、平成19年発刊の「吹雪時を考慮した視線誘導施設マニュアル(案)」を統合するなど、本マニュアル1冊で吹雪対策全般を網羅しています。

北海道のみならず、本州や海外からも活用されています。
マニュアル公開ページ http://www2.ceri.go.jp/fubuki_manual/



防雪柵（吹き止め柵）設置状況